

(3) 民謡の特性

民謡には次の五つの特性が考えられる。民謡の指導に当たっても、この特性を十分考慮しなければならない。

- ① 自然性～民謡の発生からして自然発生的な歌謡である。
- ② 伝承性～民謡は、原則として文字や楽譜のない世界の所産であり、直接、口から耳へ、耳から口へと伝承されたものである。
- ③ 社会性（集団性）～純粹の民謡の大部分が

作業歌であるように、民謡は各個人の特殊な生活感情ではなく、集団的に創造された民衆の詩であり、音楽である。

- ④ 素朴性～素朴性こそ民謡の本質であり、最大の魅力である。マスコミの発達は民謡の歌い方にも変革をもたらし、素朴性や郷土性が失われてきている。
- ⑤ 郷土性～土地の匂い、郷土色をもっている。民謡は、常に郷土の人々の^{こゝろ}好尚に適したリズムと旋律をもっている。

(4) 民謡のリズムと特徴

拍節的なリズム(八木節様式)	拍節的でないリズム(追分様式)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 拍節、リズムが明確である。 ○ 2拍子、4拍子の2拍子系がほとんどである。 ○ 比較的メリスマ的でない。 ○ 音域は一般に狭く、誰でも歌える範囲にとどまる。 ○ 集団で歌われるものが多い。 ○ ことばを大切に歌われる。(語りものの) ○ 伴奏楽器としては、太鼓や三味線が適する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拍節がはっきりしない。 ○ 2拍子系ではあるが不明確で、歌手の気持や声の調子などによって、即興的に自由に歌われる要素が強い。 ○ 比較的メリスマ的である。 ○ 音域は一般に広い。 ○ 単独で歌われるものが多い。 ○ 旋律を大切に歌われる。(歌いものの) ○ 伴奏楽器としては、尺八が適する。

本県の民謡には、拍節の明確な八木節様式に属するものが多いが、「相馬の馬方節」、「白河の馬喰節」、「会津の馬子歌」や木挽歌（相馬・い

譜例 1 「白河の馬喰歌」

わき・県北)などの民謡には、拍節がはっきりとれない追分様式の要素をもっている。

♩ = 80